



中央区議会自民党議員団は、みなさまからお寄せいただいたご意見・ご要望を※1 令和5年度の重点政策要望に反映し、昨年9月に山本区長へ提出しました。また、本年2月には、区民福祉の向上に対して8項目の※2 政策協定を山本区長と締結しました。

子どもたちの放課後の居場所づくり対策をはじめとした子育て世帯への支援や高齢化社会への対応、また、特別支援教育の環境整備と充実についても実現に向けて力を注いでおり、政策実現の一部をこのレポートで紹介させていただきます。私たち中央区議会自由民主党議員団は、

地域の方々からいただくご意見・ご要望を政策に反映し、力強く推進してまいります。

※1 令和5年度重点政策要望PDF (自民党レポート2023WINTER)



※2 政策協定PDF



重点要望6 年少人口の急増に対応した子育て環境、教育環境の充実

協定2 「こどもまんなか」社会の実現に向けた子育て・教育環境の充実

子育て環境 要望の実現

学童クラブの待機児童対策の新たな取り組み

プレディプラスが2024年度からスタートします!

(令和6年度)

現在

来年度~

学童クラブ

保護者の就労条件あり/定員 755人
区内8児童館で実施 ※令和5年4月時点
総利用者数 755人 待機児童数 260人

プレディ

保護者の就労条件なし/定員なし
区立小学校12校で実施 ※令和5年4月時点
登録者数2724人(内学童待機児童のプレディー登録者数205人)

民間学童クラブ

保護者の就労条件あり/定員 40人
利用者数 19人 ※令和5年4月時点

学童クラブ

保護者の就労条件あり
区内8児童館で継続 定員755人

学童クラブ

区立小学校で順次実施
保護者の就労条件あり 定員あり(学校毎に設定)
3年間で約1000人の定員拡大

プレディ

保護者の就労条件なし/定員なし
区立小学校13校で実施

学童クラブ

保護者の就労条件あり 2024年度の定員拡大
40人→130~160人を予定

プレディプラスとは

- 学校内の学童クラブとプレディが、それぞれの活動プログラムを共有し、より多くの体験や活動を行うことができる。
- 児童館学童クラブの待機児童の解消
- 特に小学校低学年の待機児童解消
- 民間学童クラブと併せると令和8年4月までに2000人の定員確保を予定している。

実施スケジュール

- 2024年度~ 京橋築地小学校 月島第一小学校 (令和6年) 豊海小学校 晴海西小学校(新設校)
- 2025年度~ 中央小学校 久松小学校 (令和7年) 月島第二小学校
- 2026年度~ 明石小学校 明正小学校 (令和8年) 日本橋小学校 有馬小学校 佃島小学校 月島第三小学校

子育て環境 要望の実現

子ども家庭支援センター「勝どき分室」の子育て支援サービス充実!

2

令和6年7月

子ども家庭支援センター(勝どき)が移転

移転先:
中央区保健所等複合施設(明石町)

現在の施設は「勝どき分室」となる。

子育て支援・サービスの充実へ!

勝どき分室のサービス

一時預かり保育/在宅サービスの提供/子育て交流など民間事業者による運営となり、サービス拡充へ!

- 3歳~5歳児が利用できる幼児室の設置
- 子育て講座を平日夜間や土日にも実施
- 一時預かり保育のオンライン受付の検討
- 一時預かり保育等の利用料のキャッシュレス対応の検討



子育て環境 要望の実現

日本橋地域に「特別支援学級」の設置を!

中央区議会第二回定例会の一般質問において、以前より要望を行ってきた日本橋地域への特別支援学級の整備についての見解をうかがいました。

答弁要旨

- 良好な教育環境の確保に向け、全地域への特別支援学級の設置や増設について検討を進めている。
- 特に、日本橋地域への特別支援学級設置については、以前から要望がある。
- 児童が通いやすい立地やスペースの確保が重要である。

要望の実現

3

江戸バスの無償化 本年6月20日～実施



「令和5年度予算特別委員会」(本年3月) 高齢者のフレイル等の予防・外出の機会確保の施策 「江戸バスの無償化」を要望

「江戸バスの無償化」

対象 65歳以上の高齢者、身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者手帳のいずれかをお持ちの方、妊産婦(お子さんが2歳に到達する前まで)

晴海地域交流センター 「はるみらい」 (旧ほっとプラザはるみ)

施設のコンセプト

さまざまな世代に心地よい居場所 交流とにぎわいを生み出す拠点



中央区HPより

令和2年～改修を行ってきた「ほっとプラザはるみ」が、晴海のまち開きよりもひと足早い本年12月に「地域交流センター」としてリニューアルオープンします。

愛称は「はるみらい」。春開校する晴海西小・中学校に面し、来春開業予定の「LaLa terrace」と隣接しています。前施設でも多くの方々に利用されて

いた「トレーニングスタジオ」「シャワーステーション」「レストラン」「集会室」は、引き続き整備されます。多くの方々の交流拠点として、これらの施設の他に、料理・学習・音楽・工作(手芸)なども楽しめるスペースが新たに整備されました。

現在は、オープンに向けて、工事の最終段階となっています。

令和5年12月17日 リニューアルオープン

前施設から大きく変更となった施設

前施設の駐車場部分

- 1階 →多世代交流スタジオ/地域活動スタジオ 屋外通路と一体利用によりイベントなどが可能
2階 料理スタジオ(パーティーなど食事会可能) 学習スタジオ(静かなスペース/会話が可能なスペース)
3階 温暖浴スペース(着衣のままくつろげる場所) 音楽スタジオ(設備:ドラム、ギター、電子ピアノ、マイクなど) 工作スタジオ(設備:大工道具、電動工具、ミシンなど)
屋上 運動スタジオ(バスケ・フットサル利用可) フリースペース(屋上菜園やBBQを想定)
駐輪場あり/駐車場あり(出入口:晴海西小・中学校側)

歴史探訪

「浪漫あふれる中央区」 佃島の誕生

中央区の歴史を振り返ると平安時代では、源義家にまつわる兜神社、太田道灌、徳川家康、ヤン・ヨーステン、吉田松陰、渋沢栄一、等歴史の登場人物や重要文化財など数多くありますが今回は、徳川家康に見る江戸の歴史と「佃島」の誕生を探ります。

中央区佃といえば、佃煮や住吉神社で知られておりますが、元祖は大阪の

佃です。

今から約190年前に記された『江戸名所図会』に佃島の由来、撰津国の漁師と徳川家のゆかり、また彼らの行動が記されています。これによると、大坂の陣で家康に仕えた後、漁師三十四人が江戸に呼ばれ、漁業を営む一方で海上偵察の任にあたっていました。そして慶長十八年(1613年)、江戸湾で

の漁業特権を得たとあります。

その撰津国庄屋・森孫右衛門らは、幕府へ魚を献上するのですが、残りを日本橋たもとで売ったのが魚河岸のはじまりということです。

なぜ徳川家康は大阪佃の漁師たちを江戸へと移住させたのか?諸説ありますが、本能寺の変で信長の死を知った堺見物中の家康は危機に陥り、決死の脱出を試み、水際の多い土地柄に脱出は困難の連続でした。そこで護衛を買って出たのが、撰津国佃村の漁師たちでした。九死に一生を得、岡崎城に

命からがらたどり着きます。この際の同行者の名には茶屋四郎次郎、服部半蔵の名前もあったようです。

振り返ると、決死の伊賀越えて道中食した「小魚煮」が名物「佃煮」となり、かつて漁師町だった佃島の食文化が江戸時代以来、今に伝わっているのです。

このように佃の地は、徳川家康とゆかりが深い歴史や漁師町としての風土・文化が残る貴重な地域なのです。因みに、今夏8月4日から7日まで住吉神社例大祭で大いに盛り上がりま

中央区議会自民党議員団を紹介します

京橋地域の議員



いその忠 [副幹事長][区議会副議長] 福祉保健委員会 子ども子育て・高齢者対策特別委員会

押田まり子

区民文教委員会委員 議会運営委員会委員長 まちづくり・都市基盤対策特別委員会



木村かついち

環境建設委員会副委員長 議会運営委員会副委員長 まちづくり・都市基盤対策特別委員会委員長



日本橋地域の議員



海老原たかさと [幹事長] 企画総務委員会 議会運営委員会 防災等安全対策特別委員会

塚田ひでのぶ

区民文教委員会委員長 地域活性化対策特別委員会



かみや俊宏

環境建設委員会 まちづくり・都市基盤対策特別委員会副委員長 防災等安全対策特別委員会委員長



田中耕太郎

企画総務委員会 子ども子育て・高齢者対策特別委員会



月島地域の議員



原田けんいち [副幹事長] 企画総務委員会委員長 子ども子育て・高齢者対策特別委員会

竹内幸美 [政調会長]

福祉保健委員会副委員長 地域活性化対策特別委員会委員長



うりう正高 [区議会議長]

福祉保健委員会



太田太

環境建設委員会委員長 防災等安全対策特別委員会

